

一 小の校内研修(一人1授業・初任者研修研究授業)

道徳科の学習

令和4年2月1日(火) 第2校時 2年2組

<主題名> ありがとうを 伝えたい人 資料「はたけの 先生」

<学習について>

この学習は、次のような力を育てることをねらいとしています。

招待状を書いたときの感謝の気持ちについて、様々な面から考え、身近な人々に感謝の気持ちをもって接しようとする態度を育てる。

資料「はたけの 先生」は次のような話です。

子どもたちは、近所に住む 80 歳の川上さんから、知恵や技術を教えてもらいながらさつまいもを育てます。川上さんの働きに対して尊敬と感謝の気持ちが高まり、川上さんを学校に招待します。

生活科での経験と重ね合わせながら「感謝」について考えることのできる資料です。

活動1 自分たちのさつまいも栽培をふり返り、学習のめあてを考える。



生活科での栽培活動を画像でふり返り、たくさんのさつまいもが採

れたときの喜びを思い出しました。実は、その時、畑作りで用務員が裏方として手伝っています。その話を聞いて、子どもたちは「ありがとう」という気持ちを持ちました。そして、「感謝の気持ちはどう伝えたらよいか」という学習のめあてを設定しました。

この学習では、感謝ということについて考えを広げていきます。

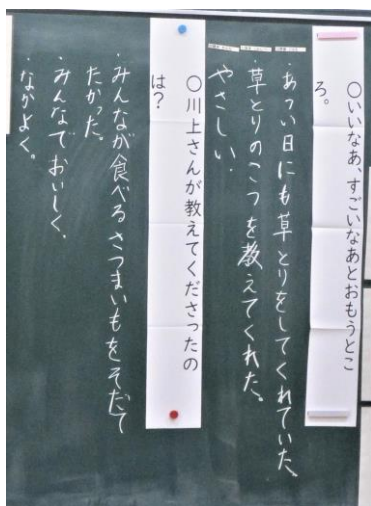
活動2 「はたけの 先生」を読んで、感謝の気持ちについて話し合う。



資料を読む前に場面絵を提示し、大まかなストーリーをつたえておきました。こうすることで、内容を容易に読み取ることができ児童が考える時間を確保することができます。

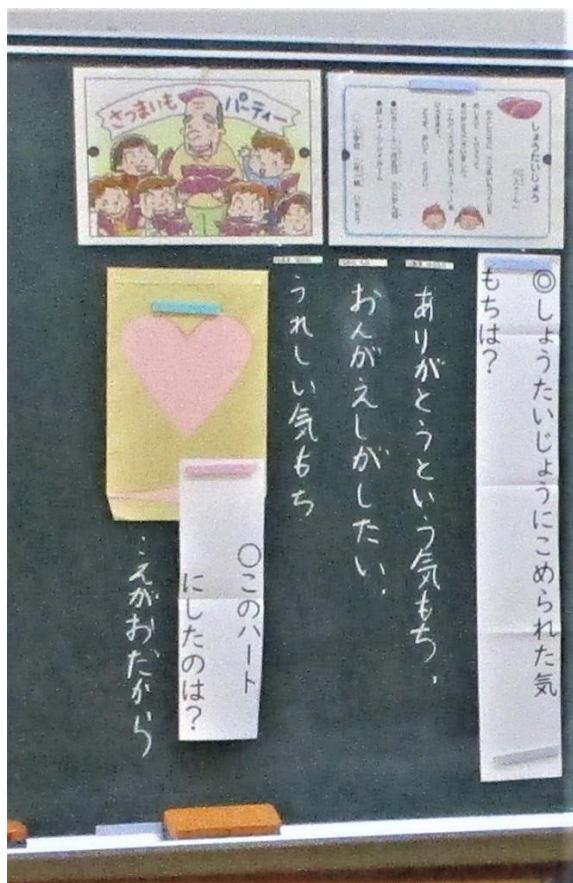


資料を読んだ後、「川上さんのすごいなあとと思うところ」「川上さんの思い」について考え、発表しました。



川上さんの善意について、考えを深めています。





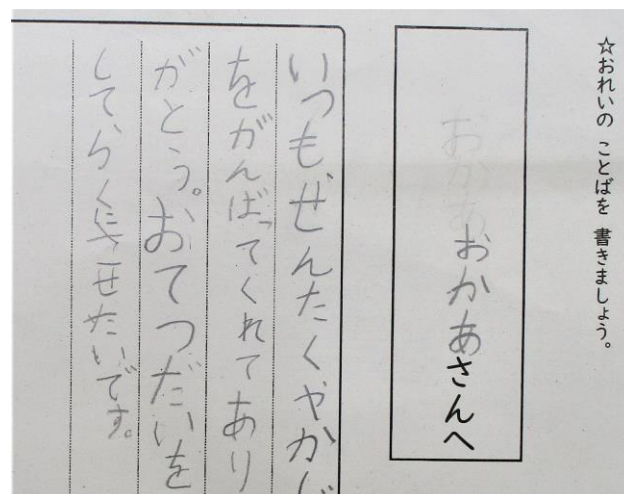
続いて、子どもたちが書いた招待状に込められている思いを考えました。

そして、それぞれの児童が「感謝の気持ちの程度」をハートメーターで表しました。



児童が掲げている感謝の気持ち
いっぱいハートマークです。

活動3 お世話になっている人を思い起こし、感謝の気持ちを伝える。



今日の学習をふり返った後、一番伝えたい人に感謝の気持ちを書き表しました。それに加えて自分にできることを見つけようとしていた児童の姿も見られました。